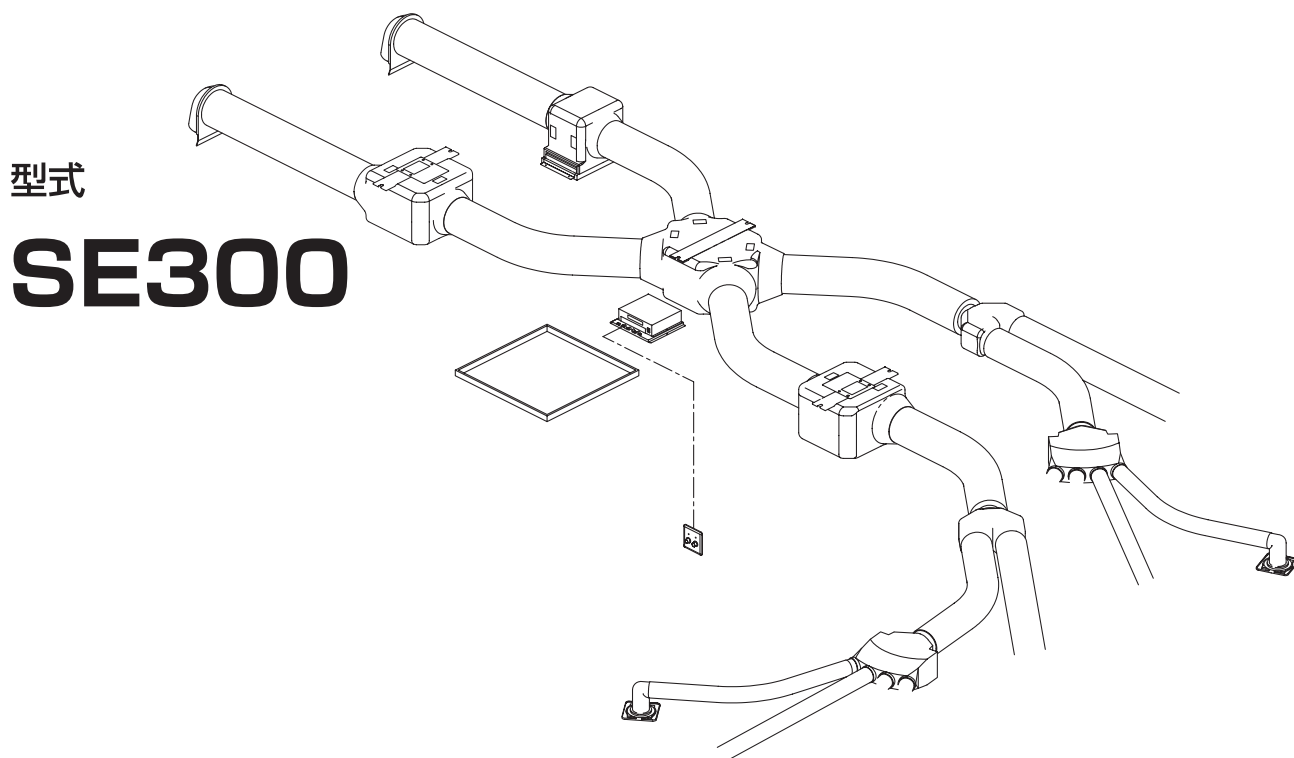


全熱交換型 スーパーエコ換気システム

取扱説明書

お客様用



このたびは、全熱交換型スーパーエコ換気システムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ご使用に際してこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みになり、安全にお使いください。

ご使用に際してこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みになり、安全にお使いください。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管してください。
- 保証書は、お買い上げ日・販売店名・保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

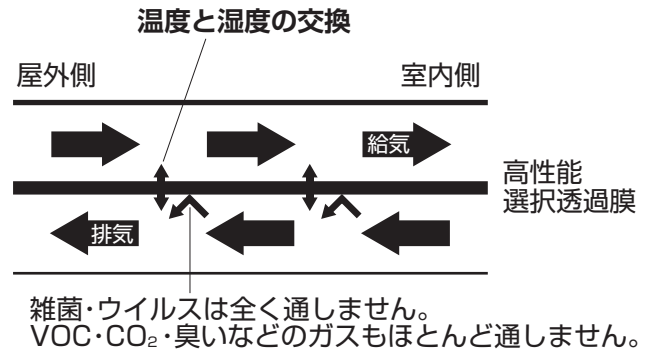
■ もくじ

1. 安全上のご注意	2
安全にご使用いただくために必ずお守りください	
2. 各部の名称とはたらき	3
3. 取扱い方	4~5
4. お手入れの仕方	6~8
5. 故障と思われたら	9
6. アフターサービス	9
7. 仕様	10
● 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	10
● 保証書	(裏表紙)

全熱交換型の換気システム…って何をするもの？

この換気システムは、室内空気の排気と屋外空気の給気を同時に入れ換えることができます。このとき、熱交換ユニットによって屋外空気を室内の温度と湿度に近づけて取入れることができます。

夏の冷房時には、屋外空気を冷却、除湿して取込むので、換気による高温多湿空気の入りを防ぐことができます。同様に冬の暖房時には、屋外空気を加温、加湿して取込むことができるので、換気による冷気流を防ぎ快適な室内環境の維持に貢献します。



1. 安全上のご注意

- 誤った使い方をしたときに生じる危険性とその程度について次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った使い方をすると死亡や重傷を負う恐れがあります。



禁止事項

- 可燃性ガスが漏れた場合スイッチの入・切をしない(引火・爆発の原因)
- 水に浸したり、水をかけない(感電・火災の原因)
- 分解や改造はしない(感電・火災・けがの原因)



指示に従う
強制事項

- 施工および電気工事は、専門業者に依頼すること(感電・火災の原因)
- 電源は、AC100Vを使用すること(感電・火災・故障の原因)
- 浴室など高湿環境に設置されていないか確認すること(感電・火災の原因)
- 浴室換気に使われていないか確認すること(感電・火災の原因)
- 可燃ガスが漏れた場合は、窓を開けること(引火・爆発の原因)
- お手入れのときは、分電盤ブレーカーを切ること(感電・火災の原因)
- 外気取入口の近くに燃焼ガスなどの排気口がないか確認すること(室内酸欠の原因)
- 異臭や異音発生などの異常時は、分電盤ブレーカーを切ること(感電・火災の原因)



注意

誤った使い方をすると軽傷を負うことや、財産の損失、財産に対する損害を負う恐れがあります。



禁止事項

- 運転中は排気グリルに指や棒を入れない(けがの原因)
- 直接火があたる高温環境や油煙の多い環境では使わない(火災・故障の原因)

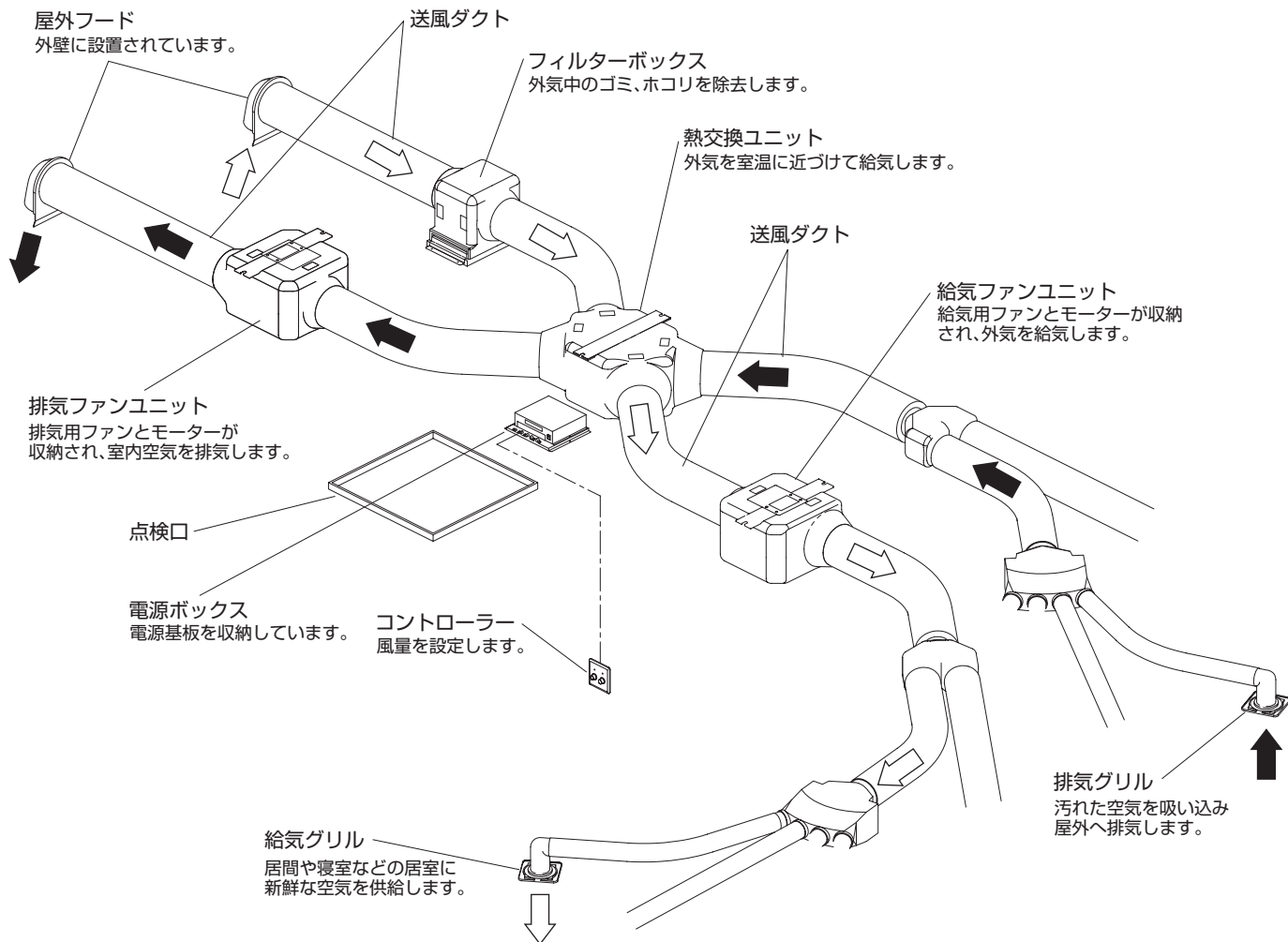


指示に従う
強制事項

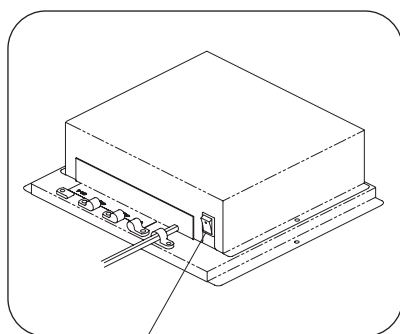
- 本体が壁に取付けられていないか確認すること(感電・火災・故障の原因)
- 本体が雨水のかかる場所へ取付けられていないか確認すること(感電・火災・故障の原因)
- お手入れのときは素手ではなく手袋を着用すること(けがの原因)
- お手入れ完了後の部品の取付けは確実に行うこと(けが・故障の原因)
- 長時間使用しないときは、分電盤ブレーカーを切ること(感電・火災の原因)

2. 各部の名称とはたらき

下図は取付け参考図です。

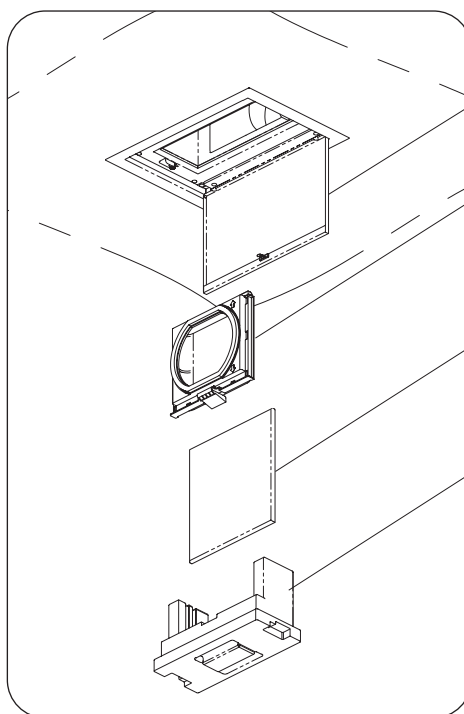


電源ボックス



電源スイッチ
本体の電源を「入、切」します。

フィルターボックス



フロントパネル
お手入れの際に開閉します。

清浄プレフィルター
外気中の大きなゴミ、ホコリ、虫などを除去します。

清浄フィルター
外気中の小さなゴミ、ホコリを除去します。

フレーム
清浄フィルターを取付けます。

3. 取扱い方

本換気システムは、24時間連続運転して換気を行うことによって、室内の空気をきれいに保つ装置です。

本体に電源スイッチが付いていますが、常に運転している状態にするため、施工時に「入」とした後は、通常操作することはありません。

■運転の仕方

- 運転を始めるには、分電盤のブレーカーを入れます。……………本体が運転を始めます。
- 運転を停止するには、分電盤のブレーカーを切ります。……………本体が運転を停止します。

【コントローラー】

コントローラーの運転の仕方は、P.5の「コントローラーについて」をご覧ください。

【壁などに「入、切」スイッチが付いている場合】

- 運転を始めるには、分電盤のブレーカーを入れ、「入、切」スイッチを「入」にします。…本体が運転を始めます。
- 運転を停止するには、「入、切」スイッチまたは分電盤のブレーカーを「切」にします。…本体が停止します。



分電盤のブレーカー、電源スイッチを入れても、運転しているか分かりにくい場合がありますが、これは装置が天井裏にあり、運転音が聞こえにくいからです。部屋の給気口から風が静かに吹き出していれば故障ではありません。



外気温が低くなると、外気取込み温度と室内吸込み温度の差が生じ内蔵されている熱交換素子が結露したり氷結する恐れがあるため、外気取込み温度が -10°C 以下になると、給気側のファンがMin運転になり、結露と氷結を防ぎます。排気側のファンは、設定された風量で運転しています。



長期使用していなかった場合、分電盤ブレーカーを入れ再運転した時、給気口より若干、臭いがすることがありますが、その場合臭いが消えるまでコントローラーの風量を上げ運転を続けてください。臭いが消えた後は、コントローラーを風量設定位置に戻してください。

■上手な使い方

本換気システムを運転することによって、室内の熱エネルギーを無駄に排出することがなくなります。使用している暖房・冷房装置の働きを助けることとなりますので、大きな省エネ効果が得られます。

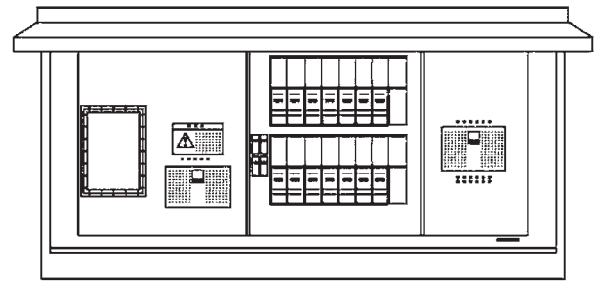


開放型ストーブ、石油ファンヒーターなどの暖房機を使用される場合は、それぞれの暖房装置の換気のすすめに従って、十分な換気を行ってください。

■使用前の準備

分電盤のブレーカーを入れてください。

- 分電盤ブレーカーのご使用方法は、施工業者におたずねください。

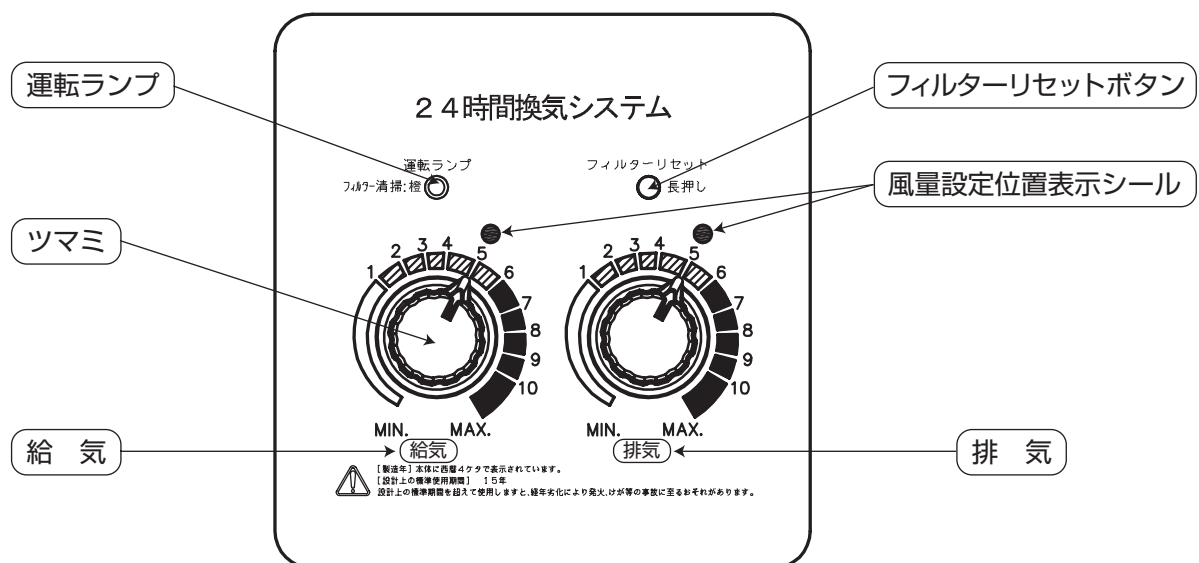


分電盤の例

■使い方のお願い

本換気システムは、24時間連続換気によって効果を発揮します。省エネや節電のために停止させると室内環境の悪化や、換気システムやダクト内のカビの発生を招くことがありますので、連続換気運転でご使用ください。

■コントローラーについて



●運転ランプ

緑——通常運転中点灯します。

橙——フィルター清掃のお知らせです。3ヶ月毎点灯します。

フィルターの清掃はP.6「4.お手入れの仕方」をご確認の上、実施してください。

赤——異常時点滅します。分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店にご相談してください。

●フィルターリセットボタン

運転ランプが橙色になりフィルター清掃を行った後、3秒以上長押ししてください。

通常運転の緑色に変わります。

●ツマミと風量設定表示シール



ツマミを回すことで風量が調整できますが、すでに換気計算を行い適切な位置で風量設定表示シールが貼付されています。



急な排気などでツマミを回した場合、必ず元の風量設定表示シールの位置に戻してください。

設定以外での使用は室内環境の悪化を招くことがありますので必ず風量設定位置表示シール位置にて使用してください。

4. お手入れの仕方




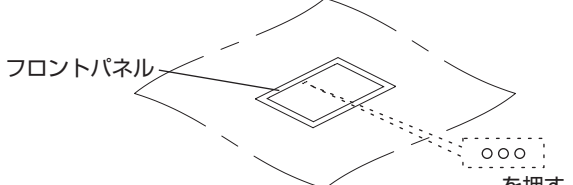

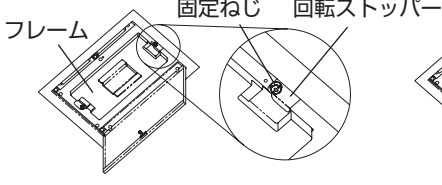
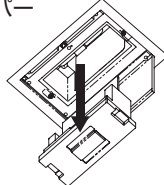
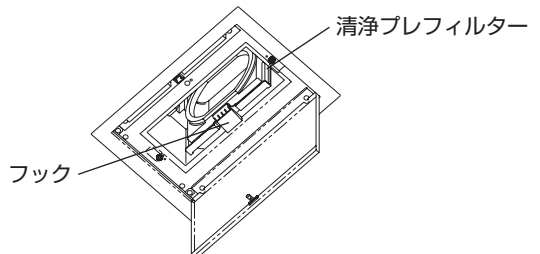
コントローラーの運転ランプが橙色に点灯した場合は、本換気システムの機能を維持していただくためにフィルターに付着したゴミ、ホコリを清掃してください。フィルターの清掃ランプは3ヶ月毎に点灯します。

 警告	 指示に従う 強制事項	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れのときは、分電盤ブレーカーを切ること(感電・火災の原因)
------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

 注意	 指示に従う 強制事項	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れのときは、素手ではなく手袋を着用すること(けがの原因) ● お手入れのときに不安定な台には乗らず、脚立などを使用し、落下・転倒に注意すること(けがの原因) ● お手入れ完了後の部品の取付けは確実にすること(けが・故障の原因) ● お手入れのときは、頭上に十分注意し、対象物を手でおさえること(けがの原因)
------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■外気清浄フィルターのお手入れ

①フィルターの取外し

<p>1.本フィルターボックスが使用されている換気装置の分電盤ブレーカーまたは、壁などに取付けられた「入、切」スイッチを「切」にして換気装置を停止させます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  分電盤の例 </div> <div style="text-align: center;">  「入、切」スイッチの例 </div> </div>	<p>2.フィルターボックスのフロントパネルを手で押さえながら、部を押してフロントパネルを開きます。</p> <div style="text-align: center;">  フロントパネル を押す </div>
<p>3.フレームを落下しないよう手をそえて固定ねじをゆるめ、回転ストッパーを回します(2箇所)。ゴミ、ホコリが目に入らないよう注意して、フレームをゆっくり取出します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  フレーム </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	<p>4.フックを押しながら、清浄プレフィルターを取出します。</p> <div style="text-align: center;">  フック 清浄プレフィルター </div>

② フィルターのお手入れ

1. フレームから清浄フィルターを外し、掃除機でゴミやホコリを吸い取ってください。

●高機能フィルター(オプション)の場合も同様に、掃除機でゴミやホコリを吸い取ってください。

※注意

NOxフィルター(オプション)は、掃除機を使用しないでください。
除去剤が吸われて、機能が低下する恐れがあります。

2. 清浄プレフィルターのネットを外し、掃除機でゴミやホコリを吸い取ってください。

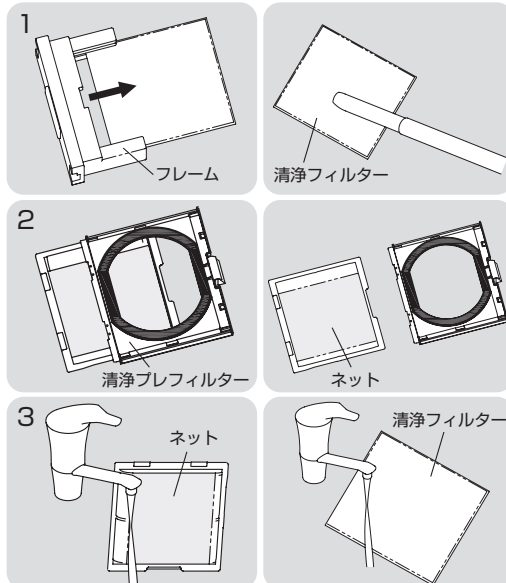
3. フィルターの汚れが掃除機で取れないときは、流水で洗い流してください。

汚れが落ちない場合は、中性洗剤を入れた水または、ぬるま湯に浸して洗ってください。

※注意

・高機能フィルター(オプション)、NOxフィルター(オプション)は水洗いできません。

・外気清浄フィルターの水洗いは、外気温度が0℃以下の場合、凍結および結露し、本体から水が滴下する恐れがありますので行わないでください。この場合は、掃除機による清掃をお願いします。



◆ お願い ◆

- ・強い流水の使用、もみ洗い、熱湯、ブラシの使用は破損の原因となります。
- ・水洗い後は十分乾かしてください。
- ・お手入れに下記溶剤などを使用すると変質・変色の原因となりますので使用しないでください。
アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、けんま材の入った洗剤、アルコール、シンナー、ベンジン、ガソリン、灯油などの石油由来の物質。

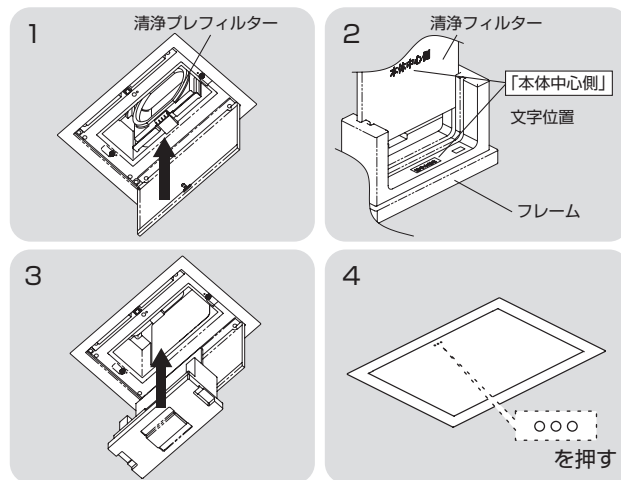
③ フィルターお手入れ後の組立

1. 清浄プレフィルターにネットを戻し、フィルターボックスの元の位置に戻してフックがかかるまでしっかり取付けます。

2. フィルターの「本体中心側」文字をフレームの「本体中心側」文字に向けて、元の位置に取付けます。

3. フレームを溝に合わせて元の位置に戻し、回転ストッパーを回して固定ねじでしっかり固定します。

4.  を押して、フロントパネルを閉じます。



●清浄フィルター交換の目安は、2年に1回程度の間隔で行ってください。

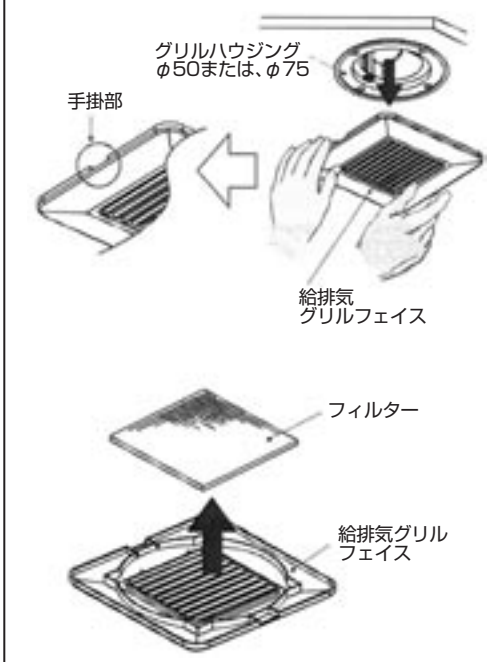
④給・排気グリルフィルターのお手入れ例

グリルやフィルターにホコリが付着しますと風量低下や異常音の原因になります。1～3ヶ月に一度を目安に清掃してください。

1. 排気グリルフェイスの手掛部を持って手前に引きながらグリルハウジングから取外します。
2. 給排気グリルフェイスからフィルターを取り、清掃します。
 - フィルターは、軽く水洗いし、よく乾かします。
 - 給排気グリルフェイスは、ぬるま湯を浸した布で拭取ります。
3. 給排気グリルとフィルターを元通りに取付けます。

● 図はお手入れ方法の例です。詳細は、ご使用のグリルの取扱説明書をご覧ください。

RGE-075-W（または-B、-C）の例



◆ お願い ◆

お手入れに下記溶剤などを使用すると変質・変色の原因となりますので使用しないでください。
アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、けんま材の入った洗剤、アルコール、シンナー、ベンジン、ガソリン、灯油などの石油由来の物質。

■ 交換用、別売フィルター

お求めは、お買上げの販売店または弊社にご相談ください。

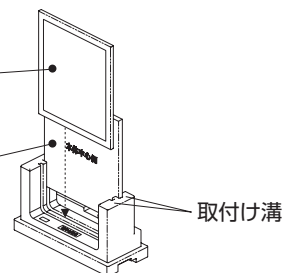
● フィルターの取付け

NOxフィルター

取付け溝の浅い方に取付けます。

清浄フィルター
高機能フィルター

取付け溝の深い方に取付けます。



	品名	品番	機能
交換用	清浄プレフィルター	SEF300P	空気中の大きなゴミ、ホコリ、虫を除去します。(網目)
	清浄フィルター	SEF100G	空気中の小さなゴミ、ホコリを除去します。(白色)
別売品 (オプション)	高機能フィルター	SEF100K	空気中の小さなゴミ、ホコリを除去します。(緑色) 抗菌・抗ウイルス・抗アレル物質・防カビ剤を添着しています。
	NOxフィルター	SEF100N	NOx(窒素酸化物)、SOx(硫黄酸化物)除去剤を添着しています。(黒色)

● 高機能フィルター（オプション） 交換の目安は、2年に1回程度の間隔で行ってください。

● NOxフィルター（オプション） 交換の目安は、3ヶ月に1回程度の間隔で行ってください。

5. 故障と思われたら

次の表に上げるポイントをもう一度確認してください。

症 状	確認するポイント
スイッチを入れているのに運転しない	●ブレーカーが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●本体の電源スイッチが切れていませんか？ (電源スイッチが入っていない場合、コントローラーのランプは不点灯となります。)
運転しているのにグリルから風が出てこない、風を吸い込まない 換気装置の音が以前より大きく感じる(脈動音がする)	●フィルターにホコリが詰まっていますか？ P6～8「4.お手入れの仕方」にしたがってフィルターの清掃を行ってください。 ●以下の条件の場合、給気グリルより風が少なくなる場合があります。 外気取込み温度が-10℃以下の場合、給気側のファンがMin運転になり、本体熱交換素子の氷結防止を行います。この場合、コントローラーの運転ランプは緑が点灯し、正常運転となっています。排気ファンは、設定風量で運転しています。 ●屋外フードが目詰まりしていませんか？
コントローラーの運転ランプが赤く点滅する	●換気システムに異常が生じた可能性があります。分電盤のブレーカーを切り、販売店にご相談ください。

以上の処置を行っても改善されない場合や、その他の症状の場合は、必ず分電盤のブレーカーを切り、運転を停止してから、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。

6. アフターサービス

アフターサービスは、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。

この期間は、経済産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

7. 仕様

型式	SE300														
定格電圧	AC 100V 50/60Hz														
風量設定位置 ※1	—	Min.	—	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	Max.	
風量 (OPa) ※2	給気(SA)	m ³ /h	71	122	177	193	207	222	236	249	260	276	285	287	287
	排気(EA)		84	121	204	219	233	249	265	279	293	303	312	318	318
消費電力 ※2	W	6	—	36	43	52	61	71	83	95	108	117	122	122	
騒音 ※3	dB(A)	19	—	33	36	38	39	42	43	44	46	46	46	46	
温度(顕熱)	暖房時	%	80	78	74	72	—	—	—	—	—	71	—	—	—
交換効率 ※2	冷房時		78	73	70	66	—	—	—	—	—	58	—	—	—
湿度(潜熱)	暖房時		64	60	56	51	—	—	—	—	—	47	—	—	—
交換効率 ※2	冷房時		69	64	59	55	—	—	—	—	—	50	—	—	—
全熱(エンタルピー)	暖房時		73	70	67	63	—	—	—	—	—	61	—	—	—
交換効率 ※2	冷房時		71	66	62	58	—	—	—	—	—	52	—	—	—
有効換気量率	%	97													

※1 風量設定位置のMin.~Max.は、無段階調整のため目安値です。


※2 熱交換ユニット・給気ファンユニット・排気ファンユニット・フィルターボックスをφ150ダクト1m・0.5曲がりで連結して測定した値です。

※3 熱交換ユニット・給気ファンユニット・排気ファンユニット・フィルターボックスをφ150ダクト1m・0.5曲がりで連結し、給気ファンユニット・排気ファンユニットの給排気口にφ150ダクト1mを接続して、給気ファンユニット・排気ファンユニットの中心直下1.5mで測定した値です。

● 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)


※経年劣化により、危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右の内容表示を本体に行っています。



【製造年】 20××年
 【設計上の標準使用期間】 15年
 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(コントローラーへの表示内容)

※右の内容をコントローラーに表示しています。



【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります。
 【設計上の標準使用期間】 15年
 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

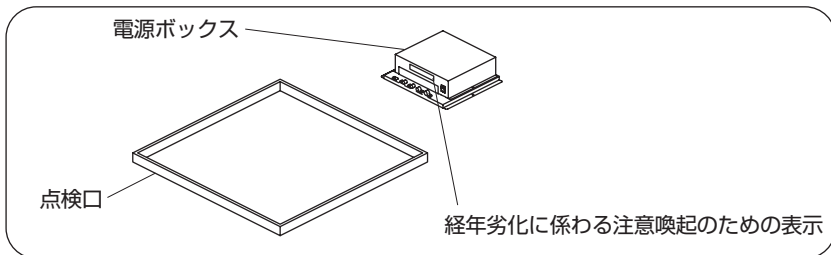
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
 ※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 JIS C9921-2による

環境条件	電圧	AC100V	
	周波数	50Hzまたは60Hz	
	温度	20℃	JIS C9603参照
	湿度	65%RH	
設置条件	標準設置	機器の施工説明書による	
	負荷条件	定格負荷(換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	常時換気 (24時間連続換気) 8760時間/年	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



保証書

全熱交換型 スーパーエコ換気システム

◇型式	SE300			本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 お買上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。		
◇お客様	ご芳名	様				
	ご住所 〒	—	—			
	電話	—	—			
◇お買上げ日	年	月	日	◇住所・店名		
保証期間	対象部分	本 体				
期間 (お買上げ日より)	期 間	1 年		販売店		
				電話	—	—

◇印欄に記入のない場合は、無効となりますので必ず記入の有無をご確認ください。



ローヤル電機株式会社
ROYAL ELECTRIC CO., LTD.

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-37 日本生命高輪第2ビル
TEL.03-5424-1861 FAX.03-5424-1864

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に依頼してください。
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、下記にお問合せください。
- 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障及び損傷
(ニ) 据付け工事の不備による故障及び損傷
(ホ) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ト) 本書の提示がない場合
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は、下記へお問合せください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

本製品の修理サービスおよび製品についてのご相談等につきましては、お買上げの販売店または下記へご連絡ください。



ローヤル電機株式会社
ROYAL ELECTRIC CO., LTD.

URL : <http://www.royal-elec.co.jp/>

東京本部 〒108-0074 東京都港区高輪2-16-37 日本生命高輪第2ビル
営業部 TEL.03-5424-1861 FAX.03-5424-1864

熊谷工場 〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-61
川本春日丘工業団地
TEL.048-583-6534

仕様は、予告なく改訂する場合がございますのでご了承ください。

TKS-1116-0